

## 生産現場を訪ねて

MSA (神奈川県相模原市)

測定や計測、分析などの受託サービスを手掛けるMSA(神奈川県相模原市、042・713・1914)は、前身企業から事業を引き継ぎ、3年前に会社を設立した。1年目に自社で作った受注は、現在では120~130件とほぼ倍増。驚異的なスピードで事業を成長させている。その原動力となっているのが、同社の強みである高い測定技術と広いネットワークだ。

## ノウハウ活かし育成事業

## ネットワークで受注倍増



新井正昭社長



(1)高精度な測定技術を持つ (2)三次元測定機(3台)を使用する

してきました。測定のすべき測定に因るためのあらゆるシャーリスト”。新井社長は知識やノウハウを積み、の上で働く従業員も出発した測定ノウハウを持つ。精度が必要な箇所でなく箇所の見極めや測定プログラムの作成など、日々技術を磨いています。

新井正昭社長は鋳物メーカーなどで20年以上事業にも取り組む。「現

在社員は、こうした測定

ノウハウを活かし、教育

機を設備したはいいが

使いこなせていないとい

う企業がいくつもある

(新井社長)。全国の測定

現場に出向き、機械の使

い方やノウハウを指導

し、オペレータ不足解消

の一役を買っているとい

う。

全国に16社の提携企業

を持つ。このネットワー

クがもう一つの成長の鍵

となっています。得意とする

のは、エンジンのハウ

トワークを中心とした

測定を得意としている。

これは、エンジンのハ

ウトワークを用意してい

る測定に対応している。

人間のハンドルでの測定

ができる。付加価値の高い

得意分野といった案件

で測定できるレーザー

ロープを三次元測定機に

検討中だ。X軸ストロ

クが200mmの三次元

ロープを測定時代から大

きく変わった(新井社

代表取締役社長)。

そこで、今後、取り

タッソを広げ分けを

う。今まで以上に測定

ができる体制をつくり、

今後も成長を続けていき

所 在 地：神奈川県相模原市中央区上満44  
87-1  
設 立：2016年6月  
設 代 表 者：新井正昭社長  
電 話：042・713・1914  
従 業 員：8人  
事 業 内 容：寸法測定・計測・分析・リバースエンジニアリング・校正の受託サービス

人間のハンドルでの測定

ができる。付加価値の高い

得意分野といった案件

で測定できるレーザー

ロープを三次元測定機に

検討中だ。X軸ストロ

クが200mmの三次元

ロープを測定時代から大

きく変わった(新井社

代表取締役社長)。

そこで、今後、取り

タッソを広げ分けを

う。今まで以上に測定

ができる体制をつくり、

今後も成長を続けていき

たい。(新井社長)。